

編集後記

大学教授・准教授たちは、「お互いに同僚の提出する論文にはケチをつけないといううるわしい“自治精神”を発揮し（中略）学問の進歩になんら寄与しない」（「くたばれ！大学紀要」）と、かつて谷沢永一が、紙礫^{かみつぶて}を投げました。果たして簡単に、そう言い切れるのでしょうか。少なくとも、わが相愛大学に於きましては、断じて「否」であります。

今般、第30巻記念号にあたり、「相愛大学の現在」なる特集を、企画しました。まさに百花繚乱、相愛の森に咲き誇る「時代において新鮮であろうとする努力」「時代を挑発する力」をひしひしと感じます。茅渚^{ちやう}の海（『万葉集』巻七、十一）大阪のその風景から発せられる、相愛大学の「学」の顕現であります。「学問とは、自分の問い」を、一生かけて問い続けることでありましょう一、各先生がたの命題^{めいぼく}が・真面目^{めいめく}が、春風の捲^{めく}るどの頁にも凜と彷彿します。教員全員に提出して頂けましたことが何より嬉しく思います。

今回の特集は、聊か誇りであります。吾心点じりぬ春一番。 (鳥井正晴)

論集編集委員会

黒坂俊昭（音楽学部）
鳥井正晴（人文学部・編集代表）
太田美穂（人間発達学部）
千葉真也（共通教育センター）
鈴木徳男（総合研究センター長）

平成26年3月10日 印刷 第30巻（通巻第65巻）
平成26年3月18日 発行

編集 相愛大学研究論集編集委員会

発行 相愛大学総合研究センター
大阪市住之江区南港中4丁目4番1
電話 (06) 6612-5904番

印刷 協和印刷株式会社
京都市右京区西院清水町13
電話 (075) 312-4010番
